

27歳女性（パートナー有）

パートナーとの同居を機に都内から千葉に引っ越してきた。それまで住んでいたところと家賃も通勤時間もそんなに変わらないのに、二人住むのに十分な広さの部屋が見つかった。お気に入りのテーマパークに近いし、買い物にも便利。都会でもゴミゴミしてない。休日は近くの公園でのんびりするのがお気に入り。この前、県内に日帰りで遊びに行ったとき、枇杷がとってもおいしかった。高速道路で行けるから便利。今度は苺狩りに行こう。お金を貯めてもっと広いところに引っ越すつもりだけど、そのときも千葉で探そうかな。

ライフスタイル概要

- 千葉でも都心に近い地域に住むライフスタイル。都内に比べ、家賃が手ごろで、住まいも広くとれる。
- 都市部であっても人混みが酷くなく、周辺に適度な自然や商業施設、遊興施設などがあるのが千葉の魅力の一つ。
- 交通網が整備され、房総半島へのアクセスもよく、農産物やキャンプ等を目的にした小旅行なども楽しめる。
- 千葉に住むきっかけがあれば、その後も慣れた生活圏での定着が見込める。

遊び尽くす！趣味に全開ライフ

25歳男性

都内勤務だけど、趣味のサーフィンを楽しみたいから、車で海にも行ける地域に居住。週末ごとに仲間とサーフィンするのが一番のストレス解消。この前、仲間から、千葉のフェスに誘われて行って見たら凄かった。近場で大きなフェスがいくつもあるらしいから、次もいってみようかな。将来は海のすぐ近くに住みたいと思ってたけど、こんな楽しみがあるんなら、このままここに住んでサーフィンだけじゃなく、色々楽しんでもいいかな。とりあえず次は夏フェス。

ライフスタイル概要

- 千葉は様々な趣味を楽しめる。サーフィンやSUPをはじめとした海遊びはもちろん、様々な音楽フェス、各地のキャンプ場やサイクリングロードなど。
- そうした趣味を楽しみつつ、都内などへも通勤できるのが千葉の大きな魅力。
- 趣味を通して交流が図られ、人の輪が広がり、更なる交流が生まれる。

1

千葉でのびのび子育てライフ

40歳男性（妻、子ども）

子どもができたことを機に比較的手ごろに一戸建てが手に入る千葉に引っ越してきた。価格だけでなく、周辺に大きな都市公園や医療機関があることもよかった。子どもが私立学校を受験するとしても電車で通えそうだ。子どもが合格できるかどうかはわからないが、近くには学習塾や図書館もあり、チャレンジできる環境があっていると思う。この間、子どもの誕生日に念願の犬を飼うこととした。千葉には犬連れで遊びにいけるところがたくさんあり、これから楽しみだ。

ライフスタイル概要

- 千葉は首都圏の中でも、比較的手ごろに一戸建ての購入が可能であり、広やかな住環境でのびのびと子育てをするにはうってつけである。
- 住環境だけでなく、大きな医療機関や教育、保育などの施設が充実している場所が多いのも千葉の魅力。
- また、千葉には、子育て世帯が多く引っ越してくる地域があり、選ばれる素地を持っている。

千葉で謳歌するセカンドライフ

60歳男性（妻）

ずっと仕事一筋にやってきたが、リタイアを機に妻とともに夏涼しく冬暖かい千葉の海辺に越してきた。高速道路を使えば成田空港にも行きやすく、思い立ったらすぐ海外にいけるのも魅力だ。ウェアラブル端末で健康管理をしつつ、何かあればすぐに大きな医療機関にかかれるから安心だ。最近、昔の仕事仲間から誘われ、リモートでITコンサルの真似事をしていたら、この地域でもIT人材が必要だと言われ、空いている時間でいいからと地元中小企業の手伝いすることになった。妻と悠々自適に過ごすはずがと思いながらも、求められることは嫌いじゃない自分がいる。

ライフスタイル概要

- 千葉は気候が安定しており、また、半島地域であっても医療機関へのアクセスが良い地域もあり、リタイア後の生活を送るにも最適である。
- また、リタイアしたとしても、都心から近いため、これまでの人間関係を継続できるのが千葉。
- リタイア世代が活躍することで、地域の活性化も図られる。リタイア世代が来ることで、医療・介護・福祉などを支える人材の雇用が生まれる。

2

千葉でチャレンジ！スタートアップライフ

38歳女性

これまで大手企業の中でキャリアを積んできたが、自分の力を試してみたいと思い切って独立した。都内は賃料が高く、地元千葉のコワーキングスペースで事務所を立ち上げた。市場として有望だとは思っていたが、周辺には子育てしながら仕事をしたい人が多く、雇用にも有利で、声を掛けたら優秀な人が多く手を上げてくれて嬉しい限りだ。仕事の仕方を工夫して、できる限りリモートワークや空き時間を活用した働き方ができるようにしたことが良かったのかな。今後、事業がどこまで拡大するかわからないけど、新しいこのまちでチャレンジし続けていきたい。

ライフスタイル概要

- 千葉は人口の社会増が続いており、特に新しいまちに人が多く引っ越してきている。そうしたまちには新しいチャレンジを受け入れるだけの環境があり、人材の集積もある。
- 多くのコワーキングスペースやインキュベーション施設があることも千葉の強み。
- 新たなチャレンジが新たな産業を育み、更なるチャレンジにつながり、常に新しいものを生み続ける循環を作る。

千葉で育む、農業の新たな成功ライフ

32歳女性（夫）

農業機器メーカーに勤めていたが、自分でも農作物を作ってみたくなり、苦労しながらも、色々な支援を受けて、千葉で農業を始めた。千葉を選んだのは、東京に近いのと、前に来た時にマルシェがやっていて、つながりを作りやすいのではと思ったからだ。会社員時代の伝手を使って、とにかく仲間を集め、過重労働にならずに、かつ、ノウハウが足りないところもITを活用した生産管理で効率化。野菜より収益単価が高い苺を作っているが、今はまだまだ。成田空港の近くには成田市公設地方卸売市場もあるので、生産量を増やし経営を安定させ、将来は輸出にも打って出たい。

ライフスタイル概要

- 千葉では農業も盛んであり、落花生や梨などは日本一の生産量を誇る。
- 加えて、物流の2024年問題以降、東京に隣接する千葉の競争力はさらに上昇する可能性がある。
- 千葉には、ワンストップ輸出拠点機能を備えた成田市公設地方卸売市場があり、農林水産物の輸出にも強みがある。
- 農林水産業における千葉県の強み・利点を生かしながら、千葉でしか実現できないライフスタイルを創造する。 3